

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 当院耳管手術外来受診した耳管開放症の臨床検討</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 耳鼻咽喉科 (研究責任者)平井 良治</p>
<p><研究期間> 西暦 承認日 ~ 西暦 2017年 12月 1日</p>
<p><研究の目的と意義> 耳管は通常閉鎖し嚙下などに際し開放する。耳管の閉鎖不全は、近年耳管開放症と呼ばれている。耳管開放症は、呼吸音聴取や聴覚過敏など様々な症状を引き起こし、患者のQOLを著しく低下させている。当院は日本では数少ない耳管手術外来を2015年12月より開設し、その診療を専門に行っている。2015年12月開設以降から2017年6月までの16か月間に、耳管手術外来を受診した患者の臨床症状や検査データ、治療成績を後ろ向きにカルテレビューをする。</p>
<p><利用する試料・情報の項目> 診療記録より年齢、性別、体重、身長、BMI、鼻すすり癖の有無、耳痛の有無、鼓膜所見(滲出液貯留、鼓膜穿孔の有無)、耳管開放症状の10項目のアンケート調査であるPHI10(Patulous Eustachian tube handicap inventory 10)</p>
<p><対象となる患者さん> 西暦2015年12月から2017年6月の期間に耳管手術外来で耳管ピン挿入術を施行した方</p>
<p><研究の方法> 過去のカルテを参照し、耳管ピン挿入した患者の年齢、性別、体重、身長、BMI、鼻すすり癖の有無、滲出液貯留、鼓膜穿孔、PHI10のデータを分析し、挿入耳管ピン号数、有効性、合併症を抽出して有用性を評価する。</p>
<p><お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町30-1) 耳鼻咽喉科 氏名:平井 良治 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2542 (PHS)8497</p>